



大森六中だより

令和5年 3月号
大田区立大森第六中学校
統括校長 菅野 哲郎
TEL 3726-7155

六中だよりはHPからも
ご覧いただけます。



17の目標の現状（つづき）

本田亮さんが著した「ムズカシそうなSDGsのことがひと目でやさしくわかる本」の続きです。

7. エネルギーをみんなにそしてクリーンに

再生可能エネルギーが誰でも使えるようになれば、温暖化にブレーキをかけることができ、人々の生活ももっと向上するだろう。2020年に中国が新たに整備した風力発電は、前年比で2.7倍。太陽光発電も前年度の8割増しとなり、1年間で原発約120基分の再生可能エネルギーを整備してしまった。一方、日本はというと、総発電量の中で、水力、太陽光、風力、地熱、バイオマスなどの再生可能エネルギーが占める割合はすべて合わせても16%ほどだ。

8. 働きがいも経済成長も

世界の子どもたちの10人に1人が児童労働させられていて、その半分は危険労働に従事している。児童労働を減らすには、公正な労働を条件としているフェアトレード商品を選んで買うというのも有効な手段だ。

9. 産業と技術革新の基盤をつくろう

国連WFPの仕事は飢餓状態の人々に食料を届けるだけじゃなく、食料と引き換えに労働をお願いして、橋や道路やため池をつくっているのだ。人々が産業の基礎を手に入れば国連WFPのサポートもいつか必要なくなるだろう。開発途上国の場合、1人当たりの製造業の付加価値はアメリカの40分の1程度。途上国での産業を力強く育

てることが、地球の未来を明るく照らすことにもなる。

10. 人や国の不平等をなくそう

世界人口の10人に1人は一日2ドル以下で生活をしているが、その一方で、世界で最も豊かな8人が持つ資産は、貧しい36億人の人が持つ資産と同じだという。豊かな人は貧しい人に手を差し伸べ、社会問題の解決のために積極的にお金を使ってほしい。

11. 住み続けられるまちづくりを

世界中で地方の人が都市を目指す傾向はとても強く、2050年には68%の人が都市で暮らすことになるという。都市部に人が集中すると、スラム化、飢餓、貧困などの原因となり、廃棄物が増え、ごみ問題や水質汚染などの環境問題も起きる。すべての人にとって幸せな都市となるために、長期的な視点、新しい技術、しっかりとした管理が必要だ。

まだまだSDGsの目標は続きますが、これまでの目標も含め、紹介した本では、SDGsが丁寧に分かりやすく解説されています。是非、ご一読ください。

そして、本校では、総合的な学習の時間「青竹タイム」で、多様性を知り(1年)、責任性を養い(2年)、創造性を培い(3年)、持続可能な社会をつくる担い手となるために学んだ事を、3月4日の学習成果発表会で発表しました。どの発表もスライドを活用して要点がよくまとめられていました。全校生徒の聴く態度も立派でした。

持続可能な社会の担い手づくり

大田区立大森第六中学校 研修ユネスコ委員会

青竹タイム発表

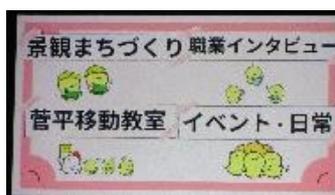
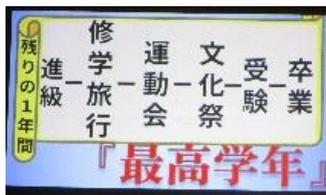
令和4年度総合的な学習の時間の発表を学習成果発表会の中で行いました。

3年ぶりの全校生徒が集まったの発表会だったので、発表者も聞く側もいささか緊張気味で始まりました。静けさの中、12月から準備をしていた原稿とスライドを使用した発表は、「人に聞かせる」「人に向けて発信する」ことを意識し、1年間の学習の振り返りを行うことで、学びをさらに深めることが目的です。

保護者アンケートでは、発表者の顔を直接見たかったとのご意見もありましたが、よくまとまっている発表だったとお褒めの言葉もたくさんいただきました。

3年生の結びの言葉に「未来を創造する力は獲得した知識と思考力、さらには前に向かっていく行動力である。」と。1・2年生に向けての熱いメッセージになったと思います。

来校いただき、視聴していただいた方に深く御礼申し上げます。



今年度最後の洗足池清掃

10日(金)今年度最後の洗足池清掃を行いました。2,3年生は3組、1年生は2組が集まり、颯爽と洗足池に向かっていく姿に、誇らしさを感じます。

いよいよ今年度も、大きな行事は卒業式のみとなり、今年度の締めくくりをどのようにするのかを、生徒達それぞれが考えている姿にも見えました。

未来につながることを1つ1つ積み重ねていきたいと思えます。

春はもうすぐそこまできています。

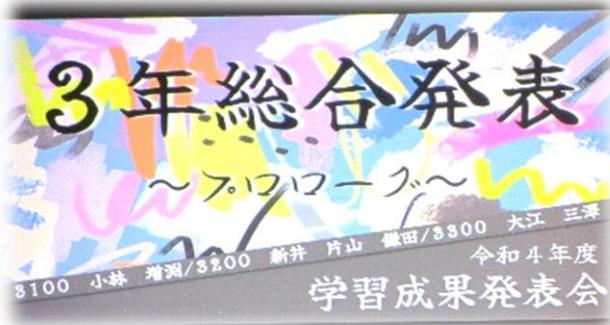


公園のアジサイとソメイヨシノの芽吹き

令和4年度 学習成果発表会

1年間の学びを振り返る「学習成果発表会」が、3月4日（土）に開催されました。今年度は全校生徒が体育館に集い、各学年の「総合的な学習の時間」における学習成果の報告会が行われました。

また、それぞれの教科授業等での学びの成果の展示会も行われました。土曜日の開催ということもあり、保護者の方や地域の方がたくさん来場され、本校生徒の学びの成果をご覧いただくことができました。今後とも生徒たちの成長を見守っていただければ幸いです。



卒業までのカウントダウン



卒業を間近に控えた3年生。各クラスには、生徒たちの手による日めくりカレンダーが掲示されています。

卒業式は今月17日(金)。残る登校日数も10日を切りました。生徒たちはかけがえのない日々をいとおしみながら、門出に向けての準備を進めています。

百人一首大会

毎年、学年ごとに体育館で行われてきた百人一首大会。ここ数年、コロナウイルスのため実施できませんでしたが、3年ぶりに1年生が2月15日、2年生が2月27日、一同に介し、体育館で熱戦を繰り広げました。2年生は源平合戦で個人賞は61枚、準優勝が60枚、総合優勝は2200学級でした。1年生は散らし取りで実力順の16チームに分かれ各チームで個人賞が決まりました。総合優勝は1100学級でした。1・2年とも、取った取られたで大盛り上がりとなり、大変楽しい時間となりました。

2年生の様子



1年生の様子



卒業記念講演会～講師 UNHCR 天沼耕平様～

UNHCR（国連難民高等弁務官事務所）の天沼様をお迎えして、UNHCRの活動と、私たちにできることなど映像を交えてお話をいただきました。「世界の約80人に1人は、戦争や紛争などにより、他国に逃れなければならない状況にいます。日本に暮らす私達は、欲しいものや進みたい進路などの選択肢を自由に選べますが、難民と呼ばれる方々はその選択肢がない、又は限られています。」「『現状や周りの人のことを知る』ことを続ける→『その知ったことを周りに広める』ことで世界が変わる→『難民支援の活動に参加する』ことで共有する→『お互いを理解して寄り添い合う』ことでともに生きるという四本柱が、未来のために私達ができることです。」

これらのお話を受けて、第三学年学級委員会主催で、募金活動を行いました。

